



スキー協通信

東京都勤労者スキー協議会

〒114-0014 東京都北区田端1-24-22山柿ビル3F 03-5842-1932

ホームページ : <http://www.tokyoskikyo.org/> E-mail : info@tokyoskikyo.org

ゆうちょ銀行口座 : 00110-7-88004 (東京都勤労者スキー協議会)

00140-5-659281 (東京スキー協スキーメイト係)

広報局専用 E-mail : tskikyo.koho@gmail.com

No.469

発 行

2024.8.1

発行責任者

出崎福男

第57回東京スキー協 定期総会開催

2024/6/16(日) 北区滝野川西区民センター



東京スキー協50年誌が発行されました

東京スキー協創立50周年記念誌がこの度発行され、6月16日開催の第57回定期総会において、各クラブに配布（出席された代議員、役員に手渡し）されました。

東京スキー協50年誌

1969-2019



新日本スポーツ連盟・東京都勤労者スキー協議会

目 次

第57回定期総会 報告	2-6頁
第57期役員・各部局・委員会・各種実行委員会の体制	7頁
第57期行事日程	8頁
第12回指導員ミーティング報告／指導員養成理論・指導員理論研修の案内	9頁
インフォメーション／8・9月のカレンダー	10頁

東京スキー協第 57 回定期総会 報告

北区滝野川西区民センター 2024/6/26 (日)

第 57 回定期総会は、6 月 16 日 (日) 午後 1 時 15 分から北区滝野川西ふれあい館第 1 ホールで開催され、提案された第 56 期活動報告、第 56 期決算報告と監査報告、第 57 期活動方針、第 57 期予算のすべてが採択されました。また、第 57 期役員選挙が行われ、会長 1 名、副会長 2 名、理事 24 名、会計監査 2 名が選出されました。第 45 期から会長を務められてきた市川正幸さん（どさんこ・ウィークデー）が会長を退任され、間至さん（チーム・スポーツ板橋）が新たに会長に選出されました。

総会には、22 クラブから 26 名の代議員が出席、役員 25 名（総数 29 名中）、傍聴者 2 名と合わせて 53 名が出席しました。



会長あいさつ（市川 正幸さん どさんこ・ウィークデー）

第 56 期のスキー協の活動を振り返ると、コロナ禍が落ち着き企画したすべての行事が終了している。ただ雪不足については、3 月の大雪のおかげでなんとか行事が組めたが、これからは地球温暖化の影響が危ぶまれる。このような状況下で我々はなにをしたらよいか。長くスキーを続けるために、知恵を振り絞って活動を続けていきたいと思う。今回、クラブ行事のあり方、みんなで楽しくスキーを続けるためにどうしたらよいか、意見を出していただきたい。



来賓あいさつ（全国スキー協理事長 小川 洋 様）



去る 6 月 9 日、全国スキー協第 33 回の代表者会議を行った。千葉スキー協で、一つクラブが増えて会員増となったとの嬉しい報告があった。千葉の発展を心から歓迎したい。昨期の取り組みで印象的だったのは、2 月末の全国競技大会は、50 回の記念大会として清澤恵美子さん他ゲストを呼び、130 名の参加者があった。スキー協以外の一般参加者がデジエントリーを通して、有名企業のスキークラブ、SAJ の有名な選手、国体選手など 50 名のエントリーがあった。清澤さんの滑りを見たいとか、初心者、初参加、親同伴で未就学児も参加できるとか、いろいろな要因があったと思う。兵庫県は山スキーが活発でクラブ員も増えているが、残念ながらスキー協全体では 133 クラブ、2000 人ほど。もう少しみなさんと努力しながら会員を増やす取り組みをしていきたい。メディアを使った宣伝に力を入れるという方針で、来年の 6 月にはホームページをリニューアルしたい。2 年に 1 度のサマーセミナー、今年は 8 月 24、25 日東北ブロック青森で行う。目玉商品は、ブルーモリスの元会長に来ていただき、ブルーモリスの歴史、製造工程の話を、また八甲田のスキーガイドのかたに、八甲田の自然現象の変化、雪不足、気候変動などについて話ををしていただく。また、秋に販売予定の新しい教程 DVD の解説映像を初公開したい。オプションとして、青森の港や三内丸山遺跡、ねぶた会館の観光を用意している。青森ホテルに宿泊者 50 人を予約している。オプションツアーも用意しているので、東京からも大挙して参加してほしい。私が参加しているねぶた愛好会の手ぬぐい、T シャツも持ってきたのでよろしくお願いします。

来賓あいさつ（新日本スポーツ連盟東京都連盟理事長 小林 章子 様） 代読：川上 咲子さん

東京都勤労者スキー協総会のご盛会おめでとうございます。日頃は新日本スポーツ連盟の活動にご理解・ご協力ありがとうございます。東京都連盟ではコロナ禍前の会員水準まで上げることを理事会で一致、活動を続けている。各種目、会員拡大の手段として、主にホームページや SNS でクラブの宣伝を積極的に行っている。また「ジモティ」や「スポーツやろうよ」などの無料でクラブメンバーやイベント

参加募集ができるサイトへの登録の手助けも行っている。新しいツールを使いこなしともに仲間を増やしていきましょう。新しい参加者、加盟クラブを増やしていき、連盟全体を大きくしていくことができると考えている。日頃使用しているスポーツ施設の問題や課題、小さなことでも構わないので、皆さまのスポーツする環境、問題点を寄せてほしい。新日本スポーツ連盟に加盟しているクラブが活発に活動できる環境作りのお手伝いを一層強化していきたいし、新しい活動や多様化するスポーツ愛好者のニーズに応える活動にも取り組まなくてはならないと思っている。本総会でスキー愛好者の要求に応える指針を示し、仲間づくりの場がより一層広がるような方針が論議されることを期待している。最後に長らくの課題である高齢化、担い手不足は深刻な問題。これから発展のためにも新しい人材の登用を積極的に取り組んでいただきたい。

第 56 期活動報告と第 57 期活動方針／第 56 期決算報告と第 57 期予算提案

(報告と提案の内容については、クラブ代表者に配布されている資料を参照してください。)

全体討論

川島 美佐子さん（EGS）

議案書のどこを話しているのか、話に追いついていけなかった。もう少しゆっくり話してほしかった。クラブが減ったという話があったが、風花を解散して足を引っ張ってしまったなど気についていた。高齢化ということで私たちもいつも悩んでいたが、若い人とつながるにはインターネット、SNS を使って進めていくということが大事。EGS はそういったものを駆使していて、自分も一生懸命ついでこうとしている。全国スキー協の話もあったが、大勢が大会に参加したということはインターネットの力だと思っている。



山口 実佳さん（てんとおむしスキークラブ）

スキー場での教室開催の書類提出について、グループごとに出すのか、開催前いつまでに出さなければならないのか、よくわからない。お答えいただきたい。



（回答：教育技術局 福島 明さん）インバウンドのかたのスキー場利用のしかた、いわゆる白タク営業、の問題も背景にある。SAJ、SIA のスクールは索道協会に料金を払っていて教室の開催は許可されており、それ以外はできないという発表がされた。志賀高原に関しては、全国スキー協を代表して全国小川理事長が電話で交渉した。スキー協は教室開催ができるが、先方が教室の規模、人数、エリアなどを把握するため行事ごとに書類で報告する必要がある。提出はなるべく早いほうがいい。小川全国理事長の名前で、講師ごとの報告になる。東京については私（福島）に提出いただく。

小柳 光雄さん（モルゲンロー）



春休みスキー教室を3月末に大型バス1台、48名の参加で開催した。子ども、小中学生、高校生が11名。まったくの初心者2名が最終日には、ポールを立てたところを転倒することなく滑ることができた。三多摩の5クラブ合同行事ということでやってきたが、クラブの解散があつたり実行委員会に参加できなかつたりで、実質的には3クラブ合同になった。指導員が足りなくて困っていたが、シュプールから2名参加ありがとうございました。チラシの効果か新しい参加者が増えたなかで、昨年から参加している男子高校生のスノーボーダーに指導員になってほしいと思っている。東京ではスノーボードの研修を受ける体制が整っていない。ぜひほかのクラブもスノボの指導員の養成を含めて、スノーボードの活動を考えてほしい。

川上 咲子さん（中野SNOW）



中野SNOWは実質活動しているのが2名、スキー協の行事に参加させてもらい元気をもらっている。今年の1月にどさんこの富良野スキーに参加し楽しくスキーをした。小さなクラブとしては、他のクラブの行事を活用していくべきかなと思っている。東京大会では、未就学児が親同伴でポールを滑るのをみんなで応援した。大会は競争ばかりではなく、やさしい斜面で大人から子どもまで滑りきるとか、自分のタイムにチャレンジするとか新たな楽しみ方が東京スキー協ならではと感じた。興味はあるけどちょっと…、という人は気軽に参加したらいいと思う。

10月27日に平和駅伝があるが、バーベキューに比べ駅伝の参加者が少ないが、バーベキューをセットにしたのは正解だと思っている。走らないけどバーベキューなら、と仲間が3名参加した。今年、新日本スポーツ連盟の副理事長になった。昨日は反核平和マラソンが平和を掲げて行われた。今年は給水係で走らなかつたが、わいわいと楽しく応援した。開催日も暑い時期から変更されたので、スキー協のメンバーにもぜひ参加してほしい。楽しいことをやりながらスキー協が発展していかなければいいかなと思う。

山川 章さん（スキークラブこなゆき）



会員数40名ほどで、高齢化と、女性がまだ少ないという現状。ユニークな点はゲレンデスキー、競技系スキー、山スキーが混在しているところ。山スキーは順調だが、競技系、ゲレンデのほうの元気がない。山スキーをうまく安全に滑るためにゲレンデが基礎だということを取り上げ、お互いに交流を深めスキーをエンジョイしたいと考えている。昨年11月こなゆき主管で「雪崩ビーコン操作訓練」の行事を行い、20人ほど参加していただいた。最近は雪崩事故等で山スキーが矢面に立つことが多く、安全第一で楽しく山やスキーを楽しむために非常にいい機会になった。気候危機はスキーヤーにとって非常に大きな問題。小川理事長も参加した、昨年9月代々木公園で行われた「ワタシのミライ」にクラブで参加して若者と一緒に周辺の駅まで行進した。気候危機に関して全世界的には若者中心の運動で、我々の時代と違って、音楽を聴いたり楽しみながら取り組まれている。現役世代や若手と、これまで続けてきた世代との垣根を取っ払い一緒にを行うことが重要だと思う。いろんな分野からの集まりディスカッションできるのは重要な機会。これからもこういった運動に取り組んでいきたい。

鈴木 綾（チーム・スポーツ板橋）

クラブの人数は少ないが、レースを中心に活動している。昨年初級指導員を取り、教室をやらせていただいているが、基礎スキーと同様、レースの楽しさも伝えられるような機会をこれからも続けていただきたい。昨シーズンケガしてしまったが、ケガをしないためにもレースもしっかりとやっていくことも大事かと思う。これからもよろしくお願いします。



上林 幹雄さん（エーデルヴァイス）

私も80歳になるが、毎年あと何回スキーができるかと頭をよぎる。組織拡大の問題はあるが、たまの機会なのに自分が楽しまなくてどうするんだ、と思う。限られた時間をどれだけ充実させるか。またスキーはお金がかかり、新しい人を呼びづらい。どうすれば解決するかまではなかなか頭がいかない。またケガの問題がある。私自身は犬の散歩を毎日やっている。神社の坂道や段差を利用したり、ユーチューブを見たりしながら自分なりにやっている。家事をするときに片足ずつでやっているが、そういうことが自然にできるようになるし、通年で体力維持をすることが基礎になると思っている。スキー協でもそういった体力維持について話し合ったり、特集を組んでもらうといいかなと思う。



成田 雅毅さん（ストック西蒲田）



昨年 15 年ぶりくらいで参加して今年も参加した。財政の話だが、なぜみなさん話題にしないのか不思議に思っていた。57 期の予算、56 期の実績を見ると、東京競技大会の赤字 20 万円が来年発生しなければ、57 期の行事収入を 20 万としてもいいのじゃないか。赤字がどうやって発生したのか、どうしたら解消できるのか。いろんな工夫をして絶対に 20 万のマイナスをなくしてほしい。競技大会の予算が 3 万円となっているが、これだけしか出さないのか。本気でやるのであれば、必要経費をここに計上して、行事収入もきちんと計上して見えるようにしたらいいと思う。57 期の予備費を設定していないが、繰越金には手を付けないで残せるのか。これは単に記載ミスとは思うが、具体的な施策をもって数字を出してほしい。

芝 亨さん（シュプールスキークラブ）



クラブの行事に他のクラブの人たちが時々参加して、その中で会員になられることがある。そういったダブル会員の人はスキー協に対する分担金を免除した会費にしてもいいのでは、という意見があった。みなさんの中でそういう（ダブル会員の）制度を持っているクラブはいらっしゃいますか…？ 検討している 3 つの案がある。一つは、同じようにスキーを楽しむのだから、当然同じ会費でいいだろうという意見があり、僕なんかはそう思っている。二つ目は、スキー協会員は 2500 円。三つ目はクラブ会費を 2500 円にして、スキー協に入る人は 3500 円を出して分担金とする。個人的には重要な話だと思っている。スキー協の役員を 2 名派遣することになった。みなさんの中にも昔から会員の人もおられると思うので、意見交換を併せて情報をクラブにあげていただければありがたい。

市川 正幸さん（どさんこ・ウィークデー）

駅伝と競技大会を担当してきた。ここ数年、10 月の平和駅伝に参加するクラブが少なくなってきた。行事の趣旨は、駅伝を通じて BBQ をやりながら、各クラブの情報交換や行事を紹介しあえる場所にしたいということ。昨年は 5 クラブ参加して、駅伝は 3 チームしか作れなかった。中野 SNOW の川上さんの力を借りて、富良野スキーに 21 名参加で成功させてきた。各クラブが行事を紹介し合いながら参加人数を増やす努力をしていかないと、行事は成功しないし、東京スキー協を大きく支えていくことはできない。ぜひ今度の駅伝と BBQ に参加して、行事を成功させるための場にしてほしい。

高橋 勝美さん（スラロームスキークラブ） 教育技術局から



今日配ったチラシのスキーセミナー 2024 について。スキーヤーにとって重要な課題になっている雪不足。いつスキーをすればいいのか、今年 1、2 月は雪がなく、3 月が一番滑れたかなと思う。雪で遊ぶなら、なぜこうなってるの？ ということを勉強したほうがいいかなと。東京スキー協として何をしたらよいか、昨年のスキーセミナーのアンケートで気候変動への取り組みについてたくさん要望をいただいた。POW 代表理事の小松さんを呼び、冬を守ろう、雪を守ろうということについて話を聞くことにした。参加しやすいように 2 部制にしたので、周りにも声をかけて参加していただきたい。

福島 明さん（シーハイルスキークラブ）教育技術局 技術部から



今日の資料にもあるが、このシーズンはケガが多かった。私も含め高齢者にとってケガは致命傷。傷害保険でもビッグモーターの問題以来、なかなか保険金を出してくれない場合も出てきているらしい。どんなケガが今シーズンの行事の中であったか紹介したい。山スキーの行事を除いて 10 行事で 10 名のケガ人が出ており、例年に比べ多くケガの程度も大きかった。12 月テクニカルフェスタで 2 名が腰椎骨折、腰の打撲。1 月かたしなレーシングキャンプではレッスン前に参加者同士が衝突、顔の打撲、肋骨骨折で 2 名。1 月シャトー塩沢の GS 練習会では膝の捻挫。2 月の競技大会でゴール後に転倒、頸椎捻挫。2 月のスラローム練習会では頭から転倒して頭部打撲、右ひざの捻挫で 2 名、3 月春のテクニカルフェスタ、前十字靱帯損傷、3 月野沢温泉はとぐるまカップでは調子が悪いと東京に帰ってから脳出血が認められ手術、4 月志賀のフリーレッスンで緩斜面で転倒、ふくらはぎの肉離れ。技術部長として、行事の中で事前の打ち合わせでケガを出さないために講師側としての心得を毎年意思統一しているつもりだが、どうしても起こってしまう。総務部のほうに報告が上がってこないものもある。ぜひケガのない楽しいスキーをしてほしい。公認資格者の年次登録は各クラブの窓口になっているかたに登録のお願いをしたのでよろしくお願いします。次の指導員養成は関越ブロック主管で、9 月 23 日、会場は浦和。東京の申し込み方法は私のほうで取りまとめるので、もうちょっと待ってください。ケガのない楽しいシーズンにしたいし、気候変動のことも考えていきたい。

間間 至さん（チーム・スポーツ板橋）競技大会実行委員から

競技大会、財政的には悪者にされていて、このままでは数年後には開催が危ないかもしれない。みなさんに盛り上げていただきたい活動をしていきたい。実行委員会は通年で活動していくことで、6 月に web 会議を 11 人で行った。裾野をどうやって拡げていくか。昨年は 13 クラブの参加、半分のクラブはまだ増える余地があるので、拡げていきたい。スキーメイトにも紹介があるが、未就学児は親と一緒に滑っていいですよ、とのことで参加があり、みな感動した。楽しい競技大会にするためにどういう形なら多くの人が楽しめるか。例えば 3 本滑りそのうち 2 本採用、とかベストタイムを採用するとか、タイムを競う人たちとは別に自己申告タイム制も採用するとか、いろんな意見が出ている。千葉、埼玉、栃木などにも積極的に声をかけたい。引き続きみなさんの協力も得て、全クラブから参加していただけるように取り組みたい。



まとめ 出崎 福男 理事長

積極的な討論への参加ありがとうございました。全体として、議案への反対意見はなかったと思う。活動報告と方針を豊かにしていくという意見だったと思う。13 人のかたから発言あった。てんとおむし山口さんから志賀高原のゲレンデの利用についての質問があった。中野 SNOW 川上さんからは、競技大会やマラソンへの参加呼びかけがあった。こなゆき山川さんからは今年 9 月の気候危機に関する集会への参加呼びかけがあった。ぜひ常任理事会としても検討したい。福島さんは、ケガの発生に関しての報告があった。みなさん注意して取り組んでいただきたい。そういう意味では、エーデルヴァイス上林さんの体力維持のための努力はぜひ参考にしたい。ストック西蒲田成田さんから、予算について意見があった。常任理事会のなかでもこの予算をつくる過程で財政委員会を立ち上げ突っ込んだ議論をする必要があるとの話が出てきている。理事会にも提案、検討し次の総会に新たな提案をしていきたい。シュプールの芝さんからクラブ会費について悩んでいるとの話があつたが、東京スキー協の組織拡大に貢献する方向で決めていただけるとありがたく、クラブにも伝えていただきたい。以上、まとめとする。



第 57 期役員体制

会長 聞間 至 (チーム・スポーツ板橋) 新任
副会长 福島 明 (シーハイル SC) 留任
梶並由美子 (中野 SNOW) 新任
理事長 出崎 福男 (コロポックル SC) 留任
副理事長 車田夕紀子 (練馬ヒューマン SC) 留任
星野 昌弘 (町田シャスネージュ) 留任
高橋 勝美 (スラローム) 留任
常任理事 矢吹 健 (銀嶺 SC) 留任
吉田 安信 (スノーモンスター) 留任
小柳 光雄 (モルゲンローテ SC) 留任
荻原 洋一 (シュプール S C) 新任
長谷川かよ子 (まっくろけ) 新任

第 57 期各部局・委員会・各種実行委員会の体制

《理事・常任理事の局担当》

- 総務局 局長：車田夕紀子
常任：吉田安信
四役：梶並由美子 (副会长)
理事：末広明美、末延法子、北川勝治、北山光治
- 組織局 局長：星野昌弘
常任：矢吹 健
四役：聞間 至 (会長)
理事：藤井一雄、本多賜代、斎藤敏晴、松本幸男、蓮見玲子
- 教育技術局 局長：高橋勝美
常任：荻原洋一 四役：福島 明 (副会长)
理事：伊藤正明、鈴木綾、中里隆太郎
- 広報局 局長：小柳光雄
常任：長谷川かよ子
四役：出崎福男 (理事長)
理事：芦村憲一、高橋豊明、平井光子

《委員会の担当》

- 山スキー委員会 理事：吉田安信
- 競技スキー委員会 常任：矢吹 健、高橋勝美、長谷川かよ子

《各種実行委員会等の担当》

- 東京競技大会 實行委員長 聞間至 (会長)
常任：出崎福男、矢吹 健、車田夕紀子
理事：末広明美
- テクニカルフェスタ 常任：高橋勝美、荻原洋一、長谷川かよ子
四役：福島明、聞間至
- 春のテクニカルフェスタ 常任：高橋勝美、福島明、聞間 至
四役：福島明
- 駅伝・B B Q 常任：星野昌弘、車田夕紀子、小柳光雄
四役：梶並由美子
- 財政、組織検討委員会 聞間至、出崎福男、高橋勝美、星野昌弘、車田夕紀子、吉田安信
- 女性交流集会 (仮称) 聞間至、梶並由美子、車田夕紀子、長谷川かよ子

東京スキー協 5 7 期行事日程

2024年7月18日現在

	東京	全国・その他
7月 2 7 日 (土)	第2回理事会 13:15~17:00(集会室利用)	
8月 2 0 日 (土)	公認資格者登録・会員登録・会費/登録料納入締切	
8月 2 4 日(土)~2 5 日(日)		全国スキー協 サマーセミナー
8月 日		関東ブロック技術部会
9月 2 3 日 (月・祝)		関越ブロック初・中級スキー指導員養成理論(浦和)
9月 2 9 日 (日)	スキーセミナー 13:30~16:50 緑が丘文化会館第3研修室	
10月 2 6 日 (土)	指導員ミーティング	
10月 2 7 日 (日)	平和駅伝&BBQ	
11月 日	山スキーのつどい	
11月 日		全国スキー協理事会
11月 1 4 日 (木)	第3回理事会 19:30~21:30(Zoomによるリモート会議)	
11月 日	山スキー講座	
11月 3 0 日(土)~1 2 月 1 日(日)		全国技術部会(志賀高原)
12月 7 日(土)~8 日(日)		中央研修会 週末コース(志賀高原)
12月 9 日(月)~1 0 日(火)		中央研修会 平日コース(志賀高原)
12月 1 3 日 (金)	指導員研修会(応用)(志賀高原一の瀬)	
12月 1 3 日 (金)	指導員受験者レベルアップ講座(雪上)(志賀高原一の瀬)	
12月 1 3 日(金)~1 5 日(日)	テクニカルフェスタ(志賀高原一の瀬)	
12月 1 4 日(土)~1 5 日(日)	第1回指導員研修会(基礎)(志賀高原一の瀬)	
12月 1 4 日(土)~1 5 日(日)	関東ブロック初・中級指導員養成実技(志賀高原一の瀬)	
1月 1 1 日(土)~1 3 日(月)	かたしなボールキャンプ	
1月 1 1 日(土)~1 3 日(月)		パウダーフェス北海道
1月	かぐら山スキー教室	
1月 2 5 日(土)~2 6 日(日)	GS練習会(会場未定)	
1月 2 5 日(土)~2 6 日(日)		STC & デモ選(北海道:予定)
2月 7 日 (金)	東京競技大会前日練習会(シャトー塩沢)	
2月 8 日(土)~9 日(日)	第49回東京競技大会(シャトー塩沢)	
2月	舞子・巻機山山スキー教室	
2月 1 5 日(土)~1 6 日(日)	SL練習会(会場未定)	関越ブロック初・中・上級指導員検定会(かたしな高原:予定)
2月 2 2 日(土)~2 3 日(日)		第51回全国競技大会(湯の丸)
3月 1 日(土)~2 日(日)		デモンスト레이ター育成特別講習会(志賀高原)
3月 8 日(土)~9 日(日)	春のテクニカルフェスタ(志賀高原一の瀬)	
3月 8 日(土)~9 日(日)	第2回指導員研修会(基礎)(志賀高原一の瀬)	
3月	乗鞍岳山スキー教室	
3月 1 5 日(土)~1 6 日(日)		STC & デモ選(志賀高原)
3月 1 9 日 (水)	第4回理事会 19:30~21:30(Zoomによるリモート会議)	
4月 5 日(土)~6 日(日)	志賀GS練習会(志賀高原一の瀬)	
4月 5 日(土)~6 日(日)		セッター研修会(野沢温泉)
4月 1 2 日(土)~1 3 日(日)		全国技術部会(志賀高原)
4月 1 7 日(金)~1 8 日(土)	平日スペシャルフリーレッスン(かぐら・予定)	
5月	鳥海山山スキー教室	
5月 1 5 日 (木)	第5回理事会 19:30~21:30(Zoomによるリモート会議)	
5月	立山山スキー教室	関東ブロック技術部会
5月	指導員ミーティング	
6月 日		全国スキー協総会
6月 1 5 日 (日)	第58回定期総会	



第 12 回 指導員ミーティング

目黒区緑が丘文化会館 2024/5/25(土)

パラレルターン習得のために指導で 失敗したこと、良かったこと、工夫などみんなで議論しませんか？

5月25日、目黒区緑が丘文化会館にて、教育技術局主催で指導員ミーティングが開かれました。

第1部 安全に関して技術部の福島部長から、最近の話題報告がありました。①東京主催行事他での事故報告が10件と、怪我の発生が多くなっているとのこと。②傷害保険の状況変化では、背景にビッグモーターの不正、「無資格者」指導下の保険金支払いの難色、主催団体では無く指導者個人への訴求傾向、違法な行動による損害の証明の困難さ、など。

第2部 「誰もが目指す華麗なパラレルターン」

前回の指導員ミーティングでグループに分かれてもらい、今回はAグループが事前に用意した企画を発表、全員で討論しました。よくあるパターン「内倒」「お尻フリ」「X脚」「踏み替え」「シェーレン」のビデオを見て2グループで討論をしました。どこが課題か、どう指導するか、良くない教え方、失敗談など書き留めつつ。

担当の荻原洋一さんが用意してくれたビデオをもとに8名の参加者が熱心に討論しました。難しいのは、「ほめる」こと。実際の指導に中でどう活かしていくか、雪上でのイメージを作り上げながらのミーティングでした。次回は10月26日（土）です。

(記：広報局・小柳光雄)



全国スキー協 関越ブロック協議会・関東ブロック協議会

2024年度 初級・中級指導員 養成理論／初級・中級指導員 理論研修 開催のご案内

関越ブロック協議会・関東ブロック協議会は、「全国スキー協指導員規定」にもとづき2024年度の初級・中級指導員の養成理論、初級・中級指導員 理論研修を下記要領で行います。主管は関越ブロック協議会となります。

なお、12月に実施する関東ブロック主管の養成実技、指導員基礎技術研修については9月にご案内いたします

●2024年度 初級・中級指導員 養成理論、初級・中級指導員 理論研修開催のご案内

<https://www.tokyosikkyo.org/wp-content/uploads/2024/06/9911ebcdc97a556194aaec6d5e0f191a.pdf>

●全国スキー協指導員受験説明資料

<https://www.tokyosikkyo.org/wp-content/uploads/2024/06/b88849648c0bd775fd1a0c05fae79ece-1.pdf>

全国スキー協主催

サマーセミナー in Aomori

集え！ 晩夏の青森へ ~地球温暖化をみんなで学ぼう~

2024年8月24・25日（土日）

会場：青森ホテル 会議室（青森市堤町1-1-23 017-775-4141）

参加費：20000円（セミナー参加費、宿泊費）

締め切り
8/10

24日：「私とブルーモリス」ブルーモリス前会長 阿部 悠二さん

「八甲田の自然と地球温暖化」 八甲田山荘・八甲田ガイドクラブ 相馬浩義さん

25日：討論・経験交流会 組織拡大経験交流会+ホームページ検討会（小川 洋さん）

今秋公開「教程解説ビデオ」封切り公開！（荻原 正治さん）

指導員規定の理解と運営・安全について（小川 洋さん）

●23日(金)、25日(月)オプション企画あり。ZOOMによるオンライン参加も可。

詳細、申込書は全国スキー協HPをご覧ください。 <https://www.mmjp.or.jp/wsaj/>

東京スキー協 キャンペーン2024

スキー協が未来に向けて進むためには…

2024年9月29日（日） 13:30 - 16:50

会場：目黒区立緑が丘文化会館 第3研修室

参加費：1800円（2部のみは1300円）

締め切り
9/14

第1部 「スキー協の二大課題を克服するために何が必要か」 指導員部 福島 明さん

第2部 「気候危機と私たちができること」 POW JAPAN 代表理事 小松吾郎さん

詳細・申し込みはこちら (Ctrl を押しながらクリック)

<https://www.tokyoskikyo.org/wp-content/uploads/2024/06/883ebd4c6098c96d83d76546665bb2e8.pdf>

8・9月のカレンダー

8月	行事名	9月	行事名
7(水)	常任理事会	11(水)	常任理事会
20(火)	会員登録・公認資格者登録締め切り	12(木)	東京スキー競技大会実行委員会
24-25(土日)	全国サマーセミナー	23(月)	関越B 初中級指導員養成理論
未定	関東B 技術部会	29(日)	スキーセミナー

編集後記 エビノシップ

東京スキー協ホームページの更新作業を始めて4カ月たちました。不慣れなことが多くバタバタしていますが、使いこなせれば大きな武器になると思います。スキー同様いろんな知識を楽しみながら身につけていこうと思っています。（芦村）